



SUZUKA

2026 AUTOBACS SUPER GT Round 05

2026 SUPER GT 第5戦 鈴鹿サーキット
8月22日(土)～23日(日)

PRACTICE 公式練習

8月22日(土) 天候：晴れ/路面：ドライ

入賞は果たしたものの、結果は7位とやや悔しいレースとなった第4戦富士から3週間。TGR TEAM ENEOS ROOKIE は三重県の鈴鹿サーキットに移り、SUPER GTのシーズン折り返しとなる第5戦を迎えた。福住仁嶺／大嶋和也のコンビはランキング2位につけているとはいえ、トップの#36 GR Supraとは20ポイントと大きな差をつけられている。この中盤戦はチームにとっても重要なラウンドだ。

そんな第5戦は、8月22日(土)の午前9時45分に公式練習がスタートした。前日から鈴鹿サーキットは残暑が厳しく、公式練習は気温31度/路面温度37度という厳しいコンディションのもと始まった。

ENEOS X PRIME GR Supraは、まず大嶋からステアリングを握りコースイン。セッション開始から15分というタイミングでストップ車両が発生し一度赤旗中断となっ

たほか、再開後もデグナーカーブで複数のストップ車両が出るなど荒れた公式練習となったが、大嶋は17周を周回。福住に交代した。

「途中、セットアップを変更してからはけっこう良い手ごたえを感じています。もちろんサクセスウエイトもあるので、ポールポジションを狙えるわけではありませんが、フィーリングは良いです」と大嶋は公式練習から良い手ごたえがあったという。

赤旗中断の時間が長かったこともあり、交代した福住は8周とあまり周回を重ねることはできなかったが、それでもGT500クラスの専有走行の時間帯に1分47秒318までタイムを上げ、7番手で公式練習を終えることになった。

「予選シミュレーションもさせてもらったのですが、タイム差はトップと少し差がありますね。でも予選はかなり僅差になると

は思います」と福住。この結果をうけ、チームはQ1のアタッカーに福住を据え、Q2進出に向けて準備を進めることになった。



QUALIFY 公式予選

8月22日(土) 天候:晴れ/路面:ドライ



午前の公式練習ではある程度の手ごたえを得つつも、福住が僅差を予想した午後の公式予選は、午後3時30分に始まった。この日の鈴鹿サーキットは暑さが続き、晴天のもと気温34度/路面温度46度というコンディションとなっていた。

直前のGT300クラスのQ1では、僚友 ENEOS X PRIME AMG GT3 がQ1を突破できず悔しい予選となっていたが、ENEOS X PRIME GR Supra は福住がステアリングを握り、Q2の大嶋に繋げるべくアタックに入っていた。5周目、渾身のアタックを行った福住は1分46秒862というタイ

ムを記録。一時はQ2進出が可能な位置につけたかと思われたが、ライバルたちのタイム更新にともない ENEOS X PRIME GR Supra の順位はQ1 ノックアウトとなる12番手となり、Q2への進出は果たすことができなかった。

「もう少しまとめられても10番手くらいだったでしょうか。セットアップも少しアグレッシブに振りすぎてしまいました」と福住は予選を振り返った。

ただ、決勝レースは何が起きるか分らない。「戦略などでも稼いでいきたい」と翌日のレースに向けて前を向いた。

RACE 決勝レース

8月23日(日) 天候:晴れ/路面:ドライ

公式予選から一夜明け、迎えた8月23日(日)の鈴鹿サーキットは、この日も夏空が広がり、暑さが堪える一日となった。午後1時30分から行われた決勝レースは、気温34度/路面温度49度というコンディションで始まった。

そんな決勝レースに向け、TGR TEAM ENEOS ROOKIE は事前に作戦を練っていたが、スタートの前にまさかの事態が発生していた。通常、SUPER GT ではレーススタートの遅くとも2時間30分前までにスタートドライバーを申告しなければならないが、決勝日の多忙なスケジュールの中で、申告が間に合わなかった。この場合、レギュレーション上第1ドライバーがスタートを担当することになっており、ENEOS X PRIME GR Supra は作戦で考えていた大嶋ではなく、福住がスタートを担当することになってしまった。

とはいえ、起きたことは悔やんでも仕方がない。チームはこの状況で最大限の力を発揮するべく、レースに臨んだ。



福住は序盤、グリッドどおりの12番手につけタイトル争いのライバルである #36 GR Supra を追っていく。4周目には他車のペナルティでひとつ順位を上げ、さらに13周目にはトラブル車両の発生により10番

手へ。タイトな鈴鹿ではGT300車両との絡みで何度か前を抜くチャンスが訪れており、#36 GR Supra とは時に接近戦を展開しながらレースを進めた。

16周目にはGT300車両のストップでフルコースイエローが入るが、その解除後、GT500クラスではミニマムでのピットインを行う車両が出はじめた。チームはコース上がクリアになる状況を見ながら、24周を終えピットへ。大嶋に交代する。

コースに戻った大嶋は、序盤6番手につけていた #24 Z NISMO GT500 を先行することに成功したが、ようやくタイヤが温まった翌周、今度はピットアウトしてきた #36 GR Supra にブロックされ、その間に #24 Z NISMO GT500 の先行を許してしまう。タイトルを争うライバルだけに当然のバトルではあったが、#36 GR Supra を抜くことはできたものの、これで結果的にひとつ順位



を落としてしまい、8番手で後半戦を戦うことになった。

レース後半、ENEOS X PRIME GR Supra のフィーリングは悪いものではなく、45周目に9番手に浮上した #36 GR Supra にはかわされることなく戦っていった。

終盤には、GT300車両が130Rでクラッシュし、セーフティカーが導入されたが、レースはそのまま再開されることなく終了することに。ENEOS X PRIME GR Supra は8位でフィニッシュした。

スタート前のまさかの事態から、チームは最善を尽くし3ポイントを持ち帰ることに成功した。ただ、ランキングでは3位に後退。サクセスウエイト、燃料流量リストラクターが効き苦しい中盤戦ではあるものの、ここが踏ん張りどころだ。今回のレースではセットアップのヒントも得ており、次戦での戦いに繋げていく。

VOICE ドライバー／GM／監督コメント



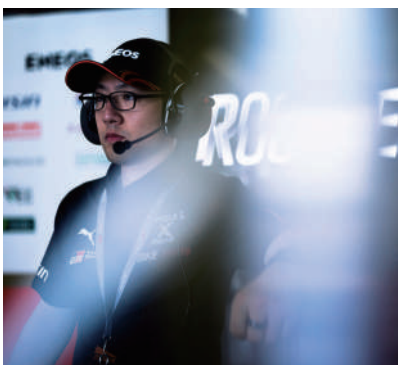
Nirei FUKUZUMI DRIVER 福住仁嶺

「予定とは異なりスタートドライバーを担当しましたが、僕としてはどちらでも良かったので、12番手から前を追っていきました。オーバーテイクできそうなタイミングもあったのですが、やはり厳しく、その後はしっかりと燃料をセーブしながら走りつつ、チャンスを待つ展開となりました。フルコースイエロー明けにチャンスはあったのですが、相手もチャンピオンだったのでなかなか簡単にはいかなかったですね。その後も前とは同じようなペースで走りつつ、ピットで繋ぐことができました。ピットアウト直後にもう少しポジションが守れればさらに上にいけたと思いますが、僕たちとしても反省点はあると思います。SUGOはまた状況も変わると思うので、しっかり上にいけるよう準備したいです」



Kazuya OSHIMA DRIVER 大嶋和也

「後半スティントを担当することになりましたが、ピットのタイミングを遅らせたので、いったん前でコースに復帰することができました。もう少し後続を抑えたかったところがありますが、36号車に引っかかっている間に抜かれてしまったので、その点は悔しいですね。ペースは悪くなかったので、前に出られていれば抜かれなかったのですが、ただ、クルマとしてはちょっとずつ方向性が見えてきた気がしますし、今後のレースに向けてもっと強いクルマができる感触がありました。ひさびさにリヤのグリップを感じることができましたし、次戦のSUGOまでにしっかりデータを見て改善することができれば、次のレースではちょっと面白い戦いができるのではないかと考えています。楽しみです」



Daisuke TOYODA GENERAL MANAGER 豊田大輔

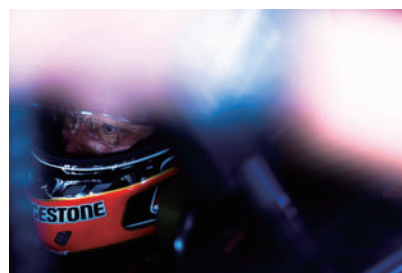
「レース前の予想は厳しいものになっていましたが、今回は『そんな予想を超える戦い方をしよう』とテーマに戦ってきました。予選については我々の中でのミスもあり、ある意味予想どおりになってしまったと思います。決勝にはミスがないようにしようと思っていたのですが、まさかのドライバー申請を忘れるという、逆の予想を超える展開となってしまいました(苦笑)。ただ、そこからがROOKIE Racingらしく、みんなで一丸となってやっけてやろうと戦えたと思います。作戦もうまくいったと思いますが、#36 GR Supraの執拗なブロックもあったので、そこは少し残念でした。そんな中、我々なりに最低限の戦いはできたと思いますし、1点多く獲れたので、少しだけ予想は超えられたのかな、と思います」



Toshiaki TAKEDA DIRECTOR 武田敏明

「結果としては8位でしたが、この結果がシーズンを終えたときに良かったのか、足りなかったのか分かります。今回、スタートドライバー申請を忘れてしまうというミスがありましたが、バタバタの中だったとはいえ監督のミスだと思います。いろんな準備をしてきた中での順番が変わってしまったのは、申し訳なかったと思います。そんな中でみんなが一丸となって最善の力を出し切ってくれたので掴むことができた8位だったのではないのでしょうか。次戦はスポーツランド SUGOでのレースで、サクセスウエイトから考えてもさらに厳しい状況にはなるとは思いますし、軽いライバルたちが上位に来るとは思いますが、今回のような力強いレースができればと思っています」

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



RESULT リザルト一覧



SUZUKA CIRCUIT GT500 OFFICIAL PRACTICE 2026 / 8 / 22 / 15:55									
RESULT									
Pos.	No.	Car/Team	BestTime	Diff	Gap	DriverName	BestTime	Lap	Lap Speed
1	18	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:46.184			Ran Sato	1:46.184	10 / 10	196.877
2	8	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:46.340	0.056	0.056	Kakumatsu Chyo	1:46.340	14 / 15	196.773
3	24	Nissan Z NISMO GT500R234	1:46.460	0.276	0.220	Teppei Nakori	1:46.460	12 / 13	196.607
4	17	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:46.715	0.531	0.255	Kouta Takakoshi	1:46.715	10 / 10	193.042
5	12	Nissan Z NISMO GT500R234	1:46.845	0.661	0.130	Kazuki Hiramine	1:46.845	10 / 11	196.056
6	10	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:46.847	0.663	0.002	Sana Sakaguchi	1:46.847	7 / 7	192.311
7	14	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:47.310	1.124	0.471	Nini Fukuzumi	1:47.310	7 / 8	194.796
8	20	Nissan Z NISMO GT500R234	1:47.375	1.189	0.361	Kakumatsu Chyo	1:47.375	9 / 9	193.443
9	64	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:47.778	1.594	0.089	Igor Onuma Fraga	1:47.778	8 / 8	193.365
10	36	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:47.805	1.621	0.027	Sho Tsuboi	1:47.805	10 / 10	193.215
11	38	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:47.859	1.675	0.054	Yuki Sakaguchi	1:47.859	14 / 14	193.815
12	37	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:47.893	1.709	0.034	Ukyo Seawhara	1:47.893	12 / 13	193.758
13	38	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:48.580	2.396	0.887	Toshiki Oya	1:48.580	5 / 6	192.532
14	100	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:52.037	5.853	4.057	Naoi Yamamoto	1:52.037	3 / 3	185.587

Start Time: 8:00:00 Finish Time: 11:30:00
 Red Flag: 10:00:00 ~ 10:17:00 210:22:00 ~ 10:40:00
 FCY: 11:02:00 ~ 11:04:00

CarNo. 100 (1:52) 210:22:00 ~ 10:40:00 (SUPER GT SpR 22:00) 120:22:00 (1:52)

Chief Timekeeper: Hayashi Takai
 Clerk of the Course: Noto Miyazawa
 Chief Steward: Masao Mizuno

高井 浩至 岩谷 知夫 水野 雅男



SUZUKA CIRCUIT GT500 QUALIFYING OFFICIAL RESULT 2026 / 8 / 22 / 15:10									
RESULT									
Pos.	No.	Car/Team	DriverName	QTime	Lap	QTime	Lap		
1	17	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Kouta Takakoshi	1:45.128	4 / 4	1:45.891	4 / 5		
2	64	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Ran Sato	1:45.208	5 / 5	1:45.254	5 / 5		
3	8	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Kakumatsu Chyo	1:45.504	4 / 4	1:46.209	4 / 5		
4	18	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Tomoki Nagai	1:45.519	5 / 5	1:46.567	4 / 5		
5	12	Nissan Z NISMO GT500R234	Kazuki Hiramine	1:45.737	4 / 4	1:45.818	4 / 4		
6	10	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Yuki Kurokawa	1:45.761	4 / 4	1:46.019	4 / 4		
7	38	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Toshiki Oya	1:45.835	4 / 5	1:46.068	4 / 4		
8	23	Nissan Z NISMO GT500R234	Kakumatsu Chyo	1:45.941	5 / 5	1:46.011	5 / 5		
9	37	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Ukyo Seawhara	1:46.061	4 / 4	1:46.205	4 / 4		
10	24	Nissan Z NISMO GT500R234	Teppei Nakori	1:46.365	4 / 5	1:46.739	4 / 5		
***** 15:10より発表 *****									
11	36	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Sho Tsuboi	1:46.008	4 / 4	1:46.008	4 / 4		
12	14	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Nini Fukuzumi	1:46.862	5 / 5	1:46.862	5 / 5		
13	38	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Yuki Sakaguchi	1:46.961	5 / 5	1:46.961	5 / 5		
14	100	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Naoi Yamamoto	1:47.411	3 / 4	1:47.411	3 / 4		

Q1 Start: 16:03:00 Finish: 16:13:00 / Q2 Start: 16:13:00 Finish: 16:17:00

【追分外行により予備としたラップタイム】

Q2: CarNo. 16: 1:45:38.45, CarNo. 24: 1:46:00.55

Chief Timekeeper: Hayashi Takai
 Clerk of the Course: Noto Miyazawa
 Chief Steward: Masao Mizuno



SUZUKA CIRCUIT GT500 QUALIFYING 1 2026 / 8 / 22 / 16:30									
RESULT									
Pos.	No.	Car/Team	BestTime	Diff	Gap	DriverName	BestTime	Lap	Lap Speed
1	64	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:45.254			Ran Sato	1:45.254	5 / 5	196.610
2	24	Nissan Z NISMO GT500R234	1:45.738	0.484	0.484	Teppei Nakori	1:45.738	4 / 5	197.707
3	12	Nissan Z NISMO GT500R234	1:45.818	0.564	0.080	Kazuki Hiramine	1:45.818	4 / 4	197.558
4	17	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:45.891	0.637	0.073	Kouta Takakoshi	1:45.891	4 / 5	197.421
5	18	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:45.967	0.713	0.076	Tomoki Nagai	1:45.967	4 / 5	197.280
6	10	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:46.019	0.765	0.052	Yuki Kurokawa	1:46.019	4 / 4	197.183
7	38	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:46.068	0.814	0.049	Toshiki Oya	1:46.068	4 / 4	197.055
8	8	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:46.209	0.955	0.121	Kakumatsu Chyo	1:46.209	4 / 5	196.830
9	37	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:46.399	1.136	0.181	Ukyo Seawhara	1:46.399	5 / 5	196.495
10	23	Nissan Z NISMO GT500R234	1:46.581	1.327	0.191	Kakumatsu Chyo	1:46.581	4 / 5	196.143
***** 以上 Q2より発表 *****									
11	36	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:46.808	1.552	0.025	Sho Tsuboi	1:46.808	4 / 4	196.087
12	14	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:46.862	1.606	0.054	Nini Fukuzumi	1:46.862	5 / 5	196.628
13	38	TOYOTA GR Supra GT500DB42	1:46.961	1.687	0.098	Yuki Sakaguchi	1:46.961	5 / 5	196.465
14	100	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	1:47.411	2.157	0.480	Naoi Yamamoto	1:47.411	3 / 4	194.828

Start Time: 16:02:00 Finish Time: 16:13:00

Chief Timekeeper: Hayashi Takai
 Clerk of the Course: Noto Miyazawa

高井 浩至 岩谷 知夫 水野 雅男



SUZUKA CIRCUIT GT500 OFFICIAL RESULT 2026 / 8 / 23 / 15:15									
RESULT									
Pos.	No.	Car/Team	DriverName	Lap	TotalTime	Diff	Gap		
1	18	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Tomoki Nagai	32	1:47:00.364				
2	17	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Kouta Takakoshi	34	1:47:03.734	3.370	3.370		
3	8	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Kakumatsu Chyo	34	1:47:05.515	5.151	1.781		
4	23	Nissan Z NISMO GT500R234	Kakumatsu Chyo	32	1:47:04.404	4.040	0.489		
5	38	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Toshiki Oya	32	1:47:04.354	4.000	0.350		
6	12	Nissan Z NISMO GT500R234	Kazuki Hiramine	32	1:47:06.130	5.766	1.476		
7	24	Nissan Z NISMO GT500R234	Teppei Nakori	32	1:47:06.252	5.888	0.002		
8	14	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Nini Fukuzumi	32	1:47:09.734	9.370	3.538		
9	36	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Sho Tsuboi	32	1:47:09.874	9.510	0.140		
10	37	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Ukyo Seawhara	32	1:47:12.228	11.864	2.354		
11	10	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Yuki Kurokawa	32	1:47:13.800	13.436	1.572		
12	64	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Ran Sato	32	1:47:13.800	13.436	0.000		
13	100	Honda HRC PRELUDE-GT / BF1	Naoi Yamamoto	34	1:47:13.800	13.436	0.000		
14	38	TOYOTA GR Supra GT500DB42	Yuki Sakaguchi	32	1:47:13.800	13.436	0.000		

Fastest Lap: No. 10 - Yuki Kurokawa / 1:46.828 (40 / 50) 192.629 km/h

Start Time: 13:32:00 Finish Time: 15:24:00

FCY: 14:07:20 (16Laps) ~ 14:10:33 (17Laps) 210:22:00 (47Laps) ~ SC: 15:08:13 (47Laps) ~ SC: 15:08:13 (47Laps) ~ SC: 15:08:13 (47Laps)

Black and White Flag

CarNo. 16 (14:53) (SUPER GT SpR 16-1 「追分外行」 507 行方)

CarNo. 8 (15:01) (SUPER GT SpR 16-1 「追分外行」 507 行方)

CarNo. 37 16:15:17 58 (SUPER GT SpR 22-4 「追分外行」 823 行方)

CarNo. 100 16:15:17 58 (SUPER GT SpR 22-4 「追分外行」 823 行方)

CarNo. 64 16:15:17 58 (SUPER GT SpR 22-4 「追分外行」 823 行方)

Chief Timekeeper: Hayashi Takai
 Clerk of the Course: Noto Miyazawa
 Chief Steward: Masao Mizuno



Our activities are supported by all partners

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています

